

触覚的感覚

— 私と外^{ほか}をつなぐ窓



河野菜穂子《Color in Texture No.3》(部分)
油彩、キャンバス 2026年 撮影：辻悠斗

岡 碧幸
加藤 宏子
河野 菜穂子
KOMAKUS
清水 宏晃
本郷 新

2026年10月10日(土)～2027年1月24日(日)

開館時間：10時00分～17時00分(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、12月28日～1月4日

本郷新記念札幌彫刻美術館

主催：本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

後援：札幌市、札幌市教育委員会

視覚、聴覚、嗅覚、味覚、そして触覚…五感と呼ばれる感覚は、いずれも身体感覚器官を通じて、外界の万象と接触しています。私たちは自らとそれ以外のものを区別し、そして認識するとき、常にこの接触を伴っています。インターネットやスマホがもはや生活インフラとなった現代社会では、その外界に溢れる豊富な情報を処理するために視覚が優位となりがちで、触覚を意識する場面はそう多くありません。しかし彫刻家はどうかでしょう。日本を代表する二人の彫刻家は、次のように述べています。

彫刻性とは量感の裏に凡ゆる美的要素をふくませた、言わば触覚的感覚にうったえる形の性格を指すものである。 一本郷新
彫刻家は物を掴みたがる。つかんだ感じで万象を見たがる。 一高村光太郎

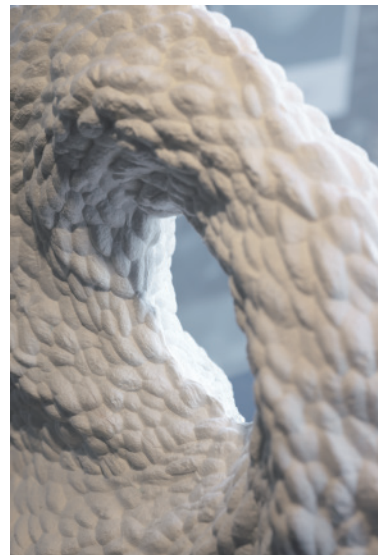
本展では、これらの言葉をたよりに、触覚を原始的な感覚、かつ他の感覚の基底を成すともいえる重要な感覚と捉え、その多義性に迫ります。本展に出品される、さまざまな技法・素材を用いて制作を行う北海道の現代作家の作品は、我々の認識と接触を通じて、感覚に対する新たな奥行を与えてくれることでしょう。



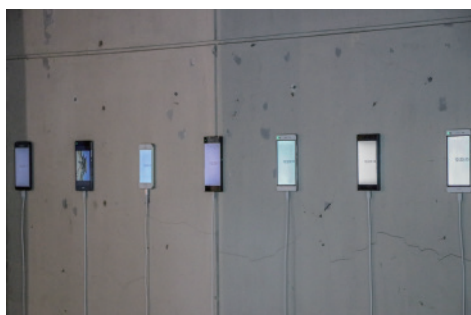
KOMAKUS 《Deep and Wide》2026年



清水宏晃 《漂うとき》2024年



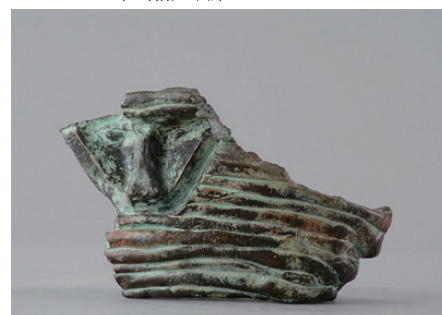
加藤宏子 《improvisation round》(部分)
2025年 撮影：山岸せいじ



岡碧幸 《借りた眠り／写真を撮る》2023年



河野菜穂子 《フィールド》2026年 撮影：辻悠斗



本郷新 《沖の人》1973年

※掲載作品画像は実際の出品作品と異なります。

出品作家

岡碧幸

日常の装置や記録、物／生き物を対象に、収集・並置・置換・索引化といった操作を通じて人間と非人間、私的なものと社会的なものを交差させながら再構成し、インスタレーション・映像・社会的介入として展開している。

加藤宏子

楮による立体作品を手掛けて約15年が経過。紙、すなわち木の天然かつしなやかな強靭さによってかたちを生み出している。近年は物事の真理とその根底にある核を追求めて制作している。2017年第2回本郷新記念札幌彫刻賞受賞。

河野菜穂子

作品や現象が人のなかに何かを呼び起こすことに関心がある。油彩における質感・色彩の関係から、状態の変化や方向性を感じさせる推進力がどのように現れ、鑑賞者の知覚と関わるのかを、作品・配置・空間の関係にも着目し、制作と展示を往復しながら探っている。

KOMAKUS

2019年から音を素材に、重力の束縛から魂を解放することを目的として活動。マルチチャンネル音響設計・音源制作、オリジナルサウンドシステム開発を専門とし、脱中心的な音響空間の創造を多ジャンルにおいて取り組んできた音響チーム、WHITELIGHT から派生。

清水宏晃

中央大学文学部卒業後、北海道芸術デザイン専門学校で木工を学ぶ。銘木店工場勤務を経て2007年に独立。2009年より同校非常勤講師。札幌を拠点に、無垢材の木を用いた家具・クラフト作品、白樺彫刻「白樺のくま」、冬季に雪像彫刻などを制作。

本郷新

1905年札幌生まれ。高村光太郎に師事。ロダン、ブールデルなど西洋近代彫刻の影響を受けながら、写実を基盤とした造形を探究し、戦後日本の具象彫刻を牽引した。1960年代以降、日本各地に数多くの彫刻を設置。

関連事業

アーティストトーク 1

日時：2026年10月10日(土) 午後2時～3時
出演：河野菜穂子、清水宏晃

アーティストトーク 2

日時：2026年11月14日(土) 午後2時～3時
出演：岡碧幸、加藤宏子、KOMAKUS(リモート出演)

場所：本館展示室

※予約不要。入場には観覧料がかかります

学芸員によるスライドトーク in サンクスデー (無料開放日)

本展の見どころをガイドします。

日時：2026年10月18日(日)
午前10時15分～45分

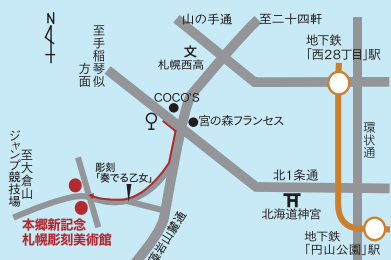
講師：当館学芸員

場所：本館研修室

観覧料

一般 600円(500円)
65歳以上 500円(400円)
高校・大学生 400円(300円)
中学生以下無料
()内は10名以上の団体料金

本郷新の彫刻を常設展示している記念館も合わせてご覧いただけます。



交通アクセス

- 公共交通機関をご利用の場合
地下鉄東西線「西28丁目」駅バスターミナル2番のりばからジェイ・アール北海道バス山の手線(循環西20(神宮前先行))乗車(約5分)、「彫刻美術館入口」下車、徒歩約10分
- タクシーをご利用の場合
地下鉄「西28丁目」駅から約5分
- お車をご利用の場合
市内中心部より約15分(無料駐車場10台あり)

本郷新記念札幌彫刻美術館

Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo

札幌市中央区宮の森4条12丁目

電話 011-642-5709

<http://www.hongoshin-smos.jp>

最新情報はSNSで更新中

